

【複合文化学科】

《卒業要件》

本学科を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	12		◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
	社会系	4			
	自然系	4			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎 コミュニケーション	4 2	(4~8)	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語科目の履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、()内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
	外国語B (英語)	基礎 初級 中級 上級			
	その他の外国語	—			
	専門必修科目	1年 2年 3年 4年	10 20 10 10		◇複合文化学科設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計50単位を修得すること。
	専門選択科目	A群 B群 C群 D群	4 8 2 2		◇複合文化学科設置の選択科目A群から4単位、B群から8単位、C群から2単位、D群から2単位の合計16単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて卒業単位に算入される。
専門教育科目 (自学科)	専門選択科目	—			◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—			◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。
	他大学科目	—			
教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)	自由選択科目 (全学部対象科目)	—			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
	①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計	84 (88~92)			

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計84(88~92)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4~8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	---

※1. 卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	必要とされる科目レベルおよび単位数
基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計 8 単位
初級	「初級」レベル以上の科目を計 8 単位
中級	「中級」レベル以上の科目を計 4 単位
上級	「上級」レベルの科目を計 4 単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入（随意科目）の場合は、上記要件を満たしたことにならない。

② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験 (ITP・IP) も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536 点以上
TOEFL (iBT)	73 点以上
TOEIC	690 点以上
実用英語技能検定 (英検)	1 級

《履修上の注意》

◇ 1年生に対する注意

・科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目的単位数
教育学部共通科目	4～12 単位
外国語科目	《外国語A》6 単位、《外国語B》4 単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》10 単位及び《選択科目》からA群の科目を4～8 単位
自由選択科目	0～8 単位

・教育学部共通科目の「複合文化学の建築物 I～IV」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。
・外国語A科目的「ツールとしての外国語 [ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語] I～V」、「外国語演習 [ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語] I～IV」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。
・資格関連科目的「視聴覚教育メディア論」は「ツールとしての情報通信ネットワーク II (視聴覚教育メディア論)」と内容が重複しますので受講できません。
・「ツールとしての情報通信ネットワーク I (情報化アカデミックリテラシー)」「ツールとしての情報通信ネットワーク II (視聴覚教育メディア論)」「ツールとしての統計処理」(いずれも1年必修)は学籍番号により履修する組が指定されます。
・「複合文化学テーマ演習」は履修するクラスを各自の希望により選択してください。

◇ 2年時以降の外国語関連の専門科目（「ツールとしての外国語」「外国語演習」）

1年次に《外国語A》として選択した言語を、原則として2年次以降も継続して学習することになります。

外国学生の外国語Aは原則として日本語となります。この場合、2年次以降の外国語関連の専門必修科目については、以下の科目で代替することができます。ただし、入学時に外国語Aとしてドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語を履修することが認められた場合は、その後の扱いは日本人学生と同じになります。

ツールとしての外国語 I	ドイツ語研究／ドイツ語圏の社会と文化／ドイツ語圏の文学／フランス語研究／フランス語圏の社会と文化／フランス語圏の文学／スペイン語研究／スペイン語圏の社会と文化／スペイン語圏の文学／日本現代文化論<2012 年度以降廃止>*/現代日本文化の諸相*/日本のメディアと文学<2012 年度以降廃止>*/日本文学とメディア*/サラリーマン表象から見る日本の社会（基礎）<2011 年度以降廃止>*/サラリーマン表象から見る日本の社会（実践）<2011 年度以降廃止>*/文章をみがく（入門）<2014 年度以降廃止>*/文章をみがく（応用）<2014 年度以降廃止>*/日本のことばと文学（基礎）*/日本のことばと文学（応用）*
ツールとしての外国語 II	(*は国語国文学科設置科目)
外国語演習 I 1	
外国語演習 I 2	
外国語演習 II 1	
外国語演習 II 2	
外国語演習 III	
外国語演習 IV	(*はグローバルエデュケーションセンター設置科目)

以上のうちから 8 科目 16 単位履修

◇ ゼミ

「複合文化学演習 (1～17) I」「複合文化学演習 (1～17) II」（専門必修3年）、「複合文化学演習 (1～17) III」「複合文化学演習 (1～17) IV」（専門必修4）はいわゆるゼミにあたる科目です。

① 「複合文化学演習 (1～17) I」は2科目選択して下さい。履修科目は2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習 (1～17) I」を履修するためには以下の各科目を修得している必要があります。

「外国語の基礎」4 単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2 単位、「ツールとしての情報通信ネットワーク I (情報化アカデミックリテラシー)」2 単位、「ツールとしての情報通信ネットワーク II (視聴覚教育メディア論)」2 単位、「ツールとしての統計処理」2 単位、「複合文化学テーマ演習 I」2 単位、「複合文化学テーマ演習 II」2 単位、選択 A 群から2科目4 単位以上。

②「複合文化学演習（1～17）II」「複合文化学演習（1～17）III」「複合文化学演習（1～17）IV」は同一の算用数字の科目を、それぞれ1科目ずつ選択して下さい。履修科目は3年生の春学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習（1～17）II」を履修するためには、「複合文化学演習（1～17）I」1科目2単位以上を修得している必要があります。また、「複合文化学演習（1～17）III」「複合文化学演習（1～17）IV」を履修するためには、「複合文化学演習（1～17）II」を修得している必要があります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

卒業要件と履修方法【複合文化学科】

科目区分	科目系列	最低単位数		上限 単位数	履修方法
		内	訳 計		
教育学部 共通科目	人文系	4		—	◇人文系・社会系から4単位、自然系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位を選択し12単位を履修。
	社会系	4			◇12単位を超えて履修した単位は、系列に係わらず卒業所定単位数に算入。但し、体育系については科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り卒業所定単位数に算入可能。
	自然系	4	4		
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A 基礎 コミュニケーション	4 2	6	—	◇外国語Aとして選択した外国語を6単位履修。
	外国語B 基礎 (英語) 初級 中級 上級		(4~8)		◇6単位を超えて履修した単位は、外国語A、外国語B(英語)、またはその他の外国語の中から履修した単位を卒業所定単位数に算入。
	その他の外国語	—			◇外国語Aを6単位修得することの他に、英語に関する卒業要件を満たしていること。(欄外の《卒業要件・英語》を参照)
	専門 必修科目	1年 2年 3年 4年	4 12 14 10		◇複合文化学科設置の必修科目最低40単位を配当年次にしたがって履修。それ以上履修した単位も卒業所定単位数に算入。
	専門選択科目	28			◇複合文化学科設置の選択科目の中から次の区分により合計28単位以上を履修。 A群から2科目4単位以上 F群から1科目2単位以上 B群から2科目4単位以上 G群から4科目8単位以上 C群から1科目2単位以上 H群から1科目2単位以上 D群から1科目2単位以上 I群から1科目2単位以上 E群から1科目2単位以上 ◇28単位を超えて履修した選択科目も卒業所定単位数に算入。
自由選択科目 (全学部対象科目)		—	—		◇科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り卒業所定単位数に算入可能。
教職課程科目 (教職に関する科目のみ)		—	—		◇科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り卒業所定単位数に算入可能。
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	—		◇他学科他専修科目は卒業所定単位数に算入。 ◇他学部科目、他大学科目は科目登録時に算入の申請をおこなった科目に限り卒業所定単位数に算入可能。
(他学部) (他大学)		—	—		
〔最低単位数 計〕	86	—			
他に選択し修得する単位数	38	—			
《卒業所定単位数》	124				

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 3年終了時まで※1に、学部で指定する学外の英語力判定試験において、学部で指定する基準に達していること。ただし、3年終了時まで※1に学部で指定する基準に達していない場合は、下記②にあたる科目を履修すること。
【学部で指定する基準】次のいずれかに該当していること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

A. TOEFL (PBT) 536点以上 B. TOEFL (iBT) 73点以上 C. TOEIC 690点以上 D. 英検1級

② 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて科目登録を行う。指定されたレベルの教育学部設置英語科目、またはそのレベルに相当する Tutorial ほか学内の英語関連科目を下記のように履修すること。

- placement test (WeTEC) の結果「基礎充実」のレベルと判定された者は、「基礎充実英語」を4単位、「初級」レベルの科目を4単位、計8単位を取得すること。
- placement test (WeTEC) の結果「初級」と判定された者は、「初級」レベル以上の科目を計8単位取得すること。
- placement test (WeTEC) の結果「中級」以上と判定された者は、そのレベル以上の科目を計4単位取得すること。

※1. 2011年度からは以下の期限までに学部で指定する基準に達していれば、②の要件を満たしたものと認めます。

- ・3月卒業の場合：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日
- ・9月卒業の場合：卒業年度の大学暦春学期授業終了日

◇他箇所設置科目の外国語科目や自由選択科目への振替方法、教職課程科目の卒業所定単位数への算入方法、他箇所設置科目の履修方法については、学部要項と科目登録の手引きを参照してください。

◇1年生に対する注意

履修の一例を示すと次のようになりますが、各自の希望にあわせてよく考えて履修してください。

- 教育学部共通科目：4単位～12単位
- 外国語科目：《外国語A》6単位、《外国語B》4単位
- 専門教育科目：1年次配当の《必修科目》4単位及び《選択科目》の中からA～D群の科目を中心に12単位～20単位
- 自由選択科目(全学部対象科目)：0単位～8単位

* 教育学部共通科目の「複合文化学の開拓地I～IV」「複合文化学の建築物I～IV」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。

* 外国語A科目の「ツールとしての外国語〔ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語〕I～V」、「外国語演習〔ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語〕I～IV」は専門教育科目と同一科目ですので履修できません。専門教育科目として履修してください。

* 資格関連科目的「視聴覚教育メディア論」は「ツールとしての情報通信ネットワークII（視聴覚教育メディア論）」と内容が重複しますので受講できません。

◇ 「ツールとしての情報通信ネットワークI（情報化アカデミックリテラシー）」、「ツールとしての情報通信ネットワークII（視聴覚教育メディア論）」（1年必修）
この科目は学籍番号により履修する組が指定されます。

◇ 2年時以降の外国語関連の専門科目（「ツールとしての外国語」「外国語演習」）について

1年次に《外国語A》として選択した言語を、原則として2年次以降も継続して学習することになります。

外国学生の外国語Aは原則として日本語となります。この場合、2年次以降の外国語関連の専門必修科目については、以下の科目で代替することができます。ただし、入学時に外国語Aとしてドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語を履修することができます認められた場合は、その後の扱いは日本人学生と同じになります。

ツールとしての外国語 I	ドイツ語研究／ドイツ語圏の社会と文化／ドイツ語圏の文学／フランス語研究／フランス語圏の社会と文化／フランス語圏の文学／中国語研究／中国語圏の社会と文化／中国語圏の文学／スペイン語研究／スペイン語圏の社会と文化／スペイン語圏の文学／日本現代文化論<2012年度以降廃止>*/現代日本文化の諸相*/日本のメディアと文学<2012年度以降廃止>*/日本文学とメディア*/サラリーマン表象から見る日本の社会（基礎）<2011年度以降廃止>*/サラリーマン表象から見る日本の社会（実践）<2011年度以降廃止>*/文章をみがく（入門）<2014年度以降廃止>*/文章をみがく（応用）<2014年度以降廃止>*/日本のことばと文学（基礎）*/日本のことばと文学（応用）*
ツールとしての外国語 II	(*は国語国文学科設置科目)
外国語演習 I 1	
外国語演習 I 2	
外国語演習 II 1	
外国語演習 II 2	
外国語演習 III	
外国語演習 IV	

以上のうちから8科目16単位履修

◇ 「複合文化学演習（1～17）I」「複合文化学演習（1～17）II」（3年必修）
「複合文化学演習（1～17）III」「複合文化学演習（1～17）IV」（4年必修）

- ①これらはいわゆるゼミにあたる科目です。
- ②演習科目は同一の算用数字の科目を春学期・秋学期続けて履修して下さい。
- ③「複合文化学演習（1～17）I」「複合文化学演習（1～17）II」は同一の算用数字の科目を、それぞれ2科目ずつ選択して下さい。履修科目は2年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習（1～17）I」「複合文化学演習（1～17）II」を履修するためには以下の各科目を修得している必要があります。**《2009年度入学者が3年生に進級する2011年度科目登録時に全学年一齊適用します》**

「外国語の基礎」4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」2単位、「ツールとしての情報通信ネットワークI（情報化アカデミックリテラシー）」2単位、ツールとしての情報通信ネットワークII（視聴覚教育メディア論）2単位、選択A群から2科目4単位以上、選択B群から2科目4単位以上、選択C群から1科目2単位以上、選択D群から1科目2単位以上。

- ④「複合文化学演習（1～17）III」「複合文化学演習（1～17）IV」は同一の算用数字の科目を、それぞれ1科目ずつ選択して下さい。履修科目は3年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定します。なお、「複合文化学演習（1～17）III」「複合文化学演習（1～17）IV」を履修するためには、「複合文化学演習（1～17）I」1科目2単位以上、「複合文化学演習（1～17）II」1科目2単位以上修得している必要があります。**《2009年度入学者が4年生に進級する2012年度科目登録時に全学年一齊適用します》**

◇ 卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数124単位のうち84単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇ 「複合文化学の開拓地I～IV」廃止に伴うB群の単位修得方法について

2011年度をもって、B群に配当されておりました「複合文化学の開拓地I～IV」は廃止されます。2011年度までにB群を4単位修得できていない場合は、A群に配当されている「複合文化学の建築物I～IV」のうち4単位を超えて過去に修得した科目あるいは本年度に科目登録した科目の科目区分を、A群からB群に変更する手続きをすることでB群の必要最低単位数4単位を満たしてください。必ず科目登録期間に事務所にて科目区分の変更手続きをしてください。